

診療所だより

W-I-L-D 再び

マニラ日本人会付属診療所 菊地 宏久

フィリピンは雨期に入ってきました。本格的な雨期に備え、この時期に流行する注意すべき疾患について述べます。

フィリピン厚生省も例年「雨期に流行する WILD に注意！」というメッセージを出し注意喚起を促しています。

“W-I-L-D”とは以下のような疾患です。

- W: Water-borne diseases—汚染された水や手などによる食中毒・下痢症⇒（対策）清潔な水を飲みましょう。
- I: Influenza—インフルエンザなどの呼吸器疾患⇒（対策）予防可能な呼吸器感染症に対してはワクチンを接種しましょう。
- L: Leptospiros—レプトスピラ症⇒（対策）長靴をはき、下肢の外傷などに気を付けましょう。
- D: Dengu fever—蚊の媒介によるデング熱、チクングンヤ熱、ジカ熱など⇒（対策）蚊に刺されないように注意しましょう。

これらの疾患は予防可能な病気です。個人でできる予防策をとることも大切です。またこれらの感染を疑った場合には早めに医療機関を受診してください！

（補足）日本人にはあまり馴染みのないレプトスピラ症について補足します。昨年7月にフィリピン厚生省により「マニラ首都圏に“レプトスピラ症のアウトブレイク”」が発令されました。指

定地区には日本人も多く居住するタギック市も含まれていました。レプトスピラ症は感染した動物（ネズミ、犬、ブタ、家畜など）の尿に汚染された水や土壌に触れることによって起こります。レプトスピラ症の症状は発熱、頭痛、筋肉痛、結膜充血などのインフルエンザやデング熱とよく似た症状を伴い、重症化すれば黄疸や出血、腎不全（ワイル病）、ショック、死に至ります。必要に応じて長靴を履いたり、手足の外傷に気を付けるなどの注意が必要です。